

大谷海岸

私たちが大切にしたいこと
未来につなげたいこと

1. 海・環境.....海と里を守り続け、その双方の資源を生かし合い、子どもたちにこの素晴らしさを伝え続けます。
2. にぎわい・観光.....海水浴場や道の駅などを活用し、大谷の「にぎわいづくりと観光復活」を目指します。
3. 人・コミュニティ.....地域の多世代のつながりをこれからも大切にして、集い協力してコミュニティを育みます。
4. 防災・減災.....かさ上げや避難道などの防災整備においては、安全と地域資源の活用を十分に考えた上で、全体デザインを各関係者ととも考えていきます。
5. そのほか.....「大谷らしさ」を大事にして、多様な人たちと対話しながら復興のまちづくりを進めます。



<復興イメージの紹介>

- 海岸線の①砂浜は大谷のみんなが大事にしているので、できる限り幅広く三島漁港までしっかり確保する。
- 旧駐在所から海洋館までの②国道をかさ上げして防潮堤を兼ねる。また③背後地もかさ上げする。
- 漁協前のエリアに、にぎわいの拠点となる④道の駅を移設。海水浴場の⑤駐車場と子どもたちの遊び場になる⑥多目的広場も併設する。
- 三島漁港側から国道に続く⑦市道をかさ上げし防潮堤を兼ねる。砂の丘の自然をできるだけ残し、⑧デイキャンプ場や憩いの場を整備する。
- 海洋館前の⑨防潮堤は原型復旧し、ハマボウフウやハマナスなどの⑩海浜植物公園とする。
- 国道と砂浜の間は、三島漁港側まで⑪緑化し、⑫遊歩道・サイクリングロードを設置する。また緑化地帯を守る⑬護岸を整備する。
- 復興の丘に⑭慰霊の場を造る。
- 既存の人工リーフとあわせ⑮砂の流出防止の調査研究と対策を継続して実施する。

※ JRは結論が出されていないため、今回は掲載をしていません。